

## 研究課題名

# 「機械学習を用いた ERCP 後膵炎リスク予測アルゴリズム構築に関する研究」 に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2010年から2020年においてトヨタ記念病院消化器内科、名古屋大学医学部附属病院で胆膵疾患に対する内視鏡的逆行性胆管膵管造影：ERCP\*を受けられた方

(※endoscopic retrograde cholangiopancreatography)

### 2. 研究目的・方法・研究期間

胆膵疾患に対する内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)は広く行われている検査ですが、検査後に膵炎を発症することがあります。手技側の因子だけでなく、患者さん側の因子も膵炎発症リスクに影響していると言われており、我々は ERCP を受けられた患者さんのデータを、近年注目されている機械学習を用いて検討することで、こういった場合に膵炎が起こりやすいかを検討したいと考えております。事前にリスクを把握しておくことでより具体的な情報提供をさせていただくことができ、またリスクが検査によって得られるメリットを上回っていないか慎重に適応を考え、手技の組み立てや検査後のフォローについてしっかりと準備することができるようになると考えております。またなるべく膵炎リスクを下げるような工夫にもつながる可能性があります。

研究期間は 2021 年 7 月 20 日(承認日)から 2025 年 3 月 31 日までを予定しております。

### 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療内容、採血や画像所見、病理所見 等

試料：本研究は後ろ向き研究であり新たに採取する検体や試料はありません

### 4. 外部への試料・情報の提供

画像データは完全匿名化し、個人が特定できないような状態でパスワードロックのかかる媒体に保存します。その状態で下記の共同研究機関に指導を仰ぎながら機械学習を行います。対応表は本学の研究責任者が保管・管理をします。

### 5. 研究組織

本研究の研究組織は以下の通りです。

名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学

教授 藤城光弘

名古屋大学医学部附属病院光学医療診療部

准教授 川嶋啓揮

名古屋大学医学部附属病院消化器内科病院講師 大野栄三郎、  
名古屋大学医学部附属病院消化器内科病院助教 飯田忠  
名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学 助教 石川卓哉  
医員：鈴木博貴、植月康太、八鹿潤、山田健太、芳川昌功、青木聡典、片岡邦夫、森裕、  
大学院生：高橋秀和  
名古屋大学メディカル IT センター 病院教授 白鳥義宗  
特任助教 大山慎太郎、医員 古川大記  
名古屋大学情報学研究科知能システム学 教授 森健策、特任准教授 林雄一郎  
名古屋大学情報連携推進本部情報戦略室 准教授 小田昌宏  
トヨタ記念病院消化器内科 科部長 鈴木貴久

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、診療情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、研究結果を公表した後は、お申し出頂いた患者さんのデータを除去できない場合があります。

・照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院 医学系研究科 消化器内科学

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL： 052-744-2169 FAX： 052-744-2178

名古屋大学医学部医学系研究科消化器内科学大学院生 高橋秀和

研究責任者・代表者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学教授 藤城光弘

トヨタ記念病院の連絡先

トヨタ記念病院 消化器内科 科部長 鈴木 貴久

〒471-8513 豊田市平和町 1-1

TEL： 0565-28-0100(代表) FAX： 0565-24-7157